



JWBF
Japan Wheelchair
Basketball Federation



JWBF 中長期計画推進委員会 2023年6月社員総会報告

2023/6/24

For Society

互いを尊重し認め合う
寛容な社会の実現に貢献する

For Everyone

車いすバスケットボールの普及、
および競技力向上と
世界での飛躍を促進する

For Future

子ども達へのアプローチを通して、
ともに生き生きと輝く
地域社会の発展に寄与する



For Everyone

競技力向上

世界で輝く日本代表をつくろう

- ・パスウェイの構築
- ・大会カテゴリー整備
- ・日本代表を世界のトップ3へ

普及発掘・振興から浸透へ

する人・みる人・支える人を増やそう

- ・魅力あるコンテンツ作りとみる機会の増加
- ・ジュニア選手・女子選手の活動支援
- ・支える人財の拡充と質的向上

スポーツへの参加機会の拡大

誰もが参加できるきっかけをつくろう

- ・入り口を増やし広げるための環境整備
- ・誰もが気軽に参加できる大会イベントの開催
- ・チャンスとチョイスのある会員登録制度構築

全国10ブロックで活動するクラブ



子どもたちへのアプローチ

感性豊かな心を共に育もう

- ・ノーバリア文化の醸成
- ・I'm possible等を通じた学びの提供
- ・すべての子どもが生き生きと輝く居場所作り

For Society

車いすバスケ×SDGs

パラスポーツで寛容な社会を実現しよう

- ・多様性の理解を深める体験機会の提供
- ・諸団体、企業、自治体等との協働による
公平でインクルーシブな社会の共創

地域活性化

社会をアップデートする原動力になろう

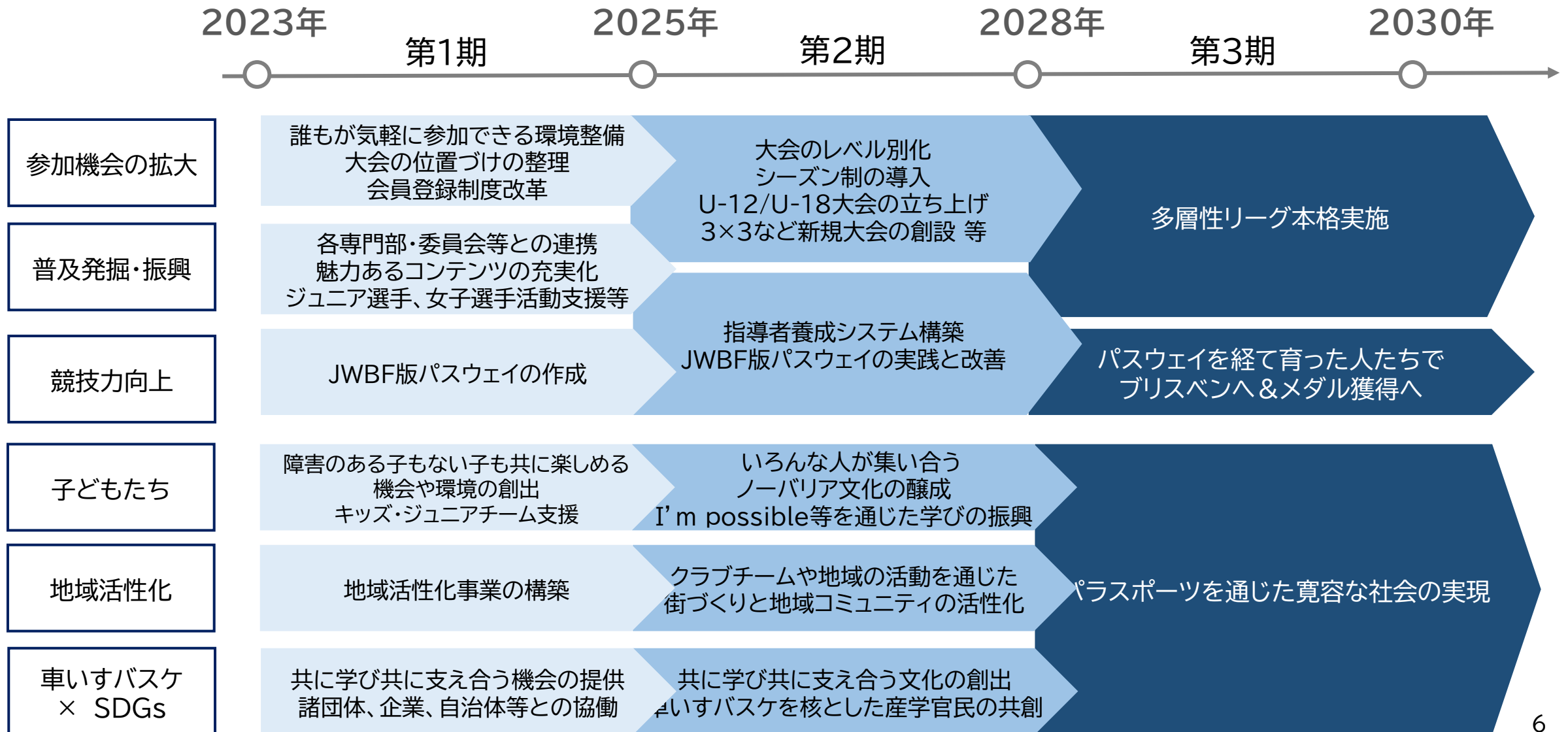
- ・街づくり、コミュニティづくりへの参画と貢献
- ・“車いすバスケだからできること”を活かした
活力ある地域コミュニティの創出

For Future

目指すべき姿【2030 GOAL目標】

<p>For Everyone 車いすバスケットボールの普及、および競技力向上と世界での飛躍を促進する</p>	<p>する人(選手・スタッフ登録):1500人達成 みる人:天皇杯観客動員数1万人達成 ささえる人:サポーター会員:1万人獲得 スポンサー企業10社増</p>
<p>For Future 子ども達へのアプローチを通して、ともに生き生きと輝く地域社会の発展に寄与する</p>	<p>子どもたちが自分たちが暮らしている地域でいつでも車いすバスケットやパラスポーツに親しめる環境を創出する 47都道府県それぞれの地域の人財を活かし、I'm possible等を教材とした体験教室を実施している</p>
<p>For Society 互いを尊重し認め合う寛容な社会の実現に貢献する</p>	<p>国民の30%が「パラスポーツをやったことがある」経験を有する 47都道府県で誰もが参加できるスポーツイベントをその地域のクラブチームや各ブロックが中核となり、様々な団体と協働し実施している</p>

JWBF未来プロジェクト ロードマップ2023-2030



ワーキングチームによる事業推進(2023年1月～)



中長期計画推進委員会委員長:玉川敏彦

副委員長:田中晃 リーダー:及川晋平 サブリーダー:竹内美奈子

ワーキングチーム	メンバー	担当領域
企画戦略室	橋 片岡	新しい事業の企画立案とWGへの移行 各WGの進捗管理・推進サポート
地域活性化WG	片岡 石川 竹本 山本 西村 豊島 森住	”車いすバスケの強み”を生かした地域活性化に関わること
子どもWG	肥田野 安達 松川 松永 小崎	未来を担う子どもたちへのアプローチに関すること
教育研修WG	岩崎 マセソン美季	子どもたちへのインクルーシブ教育に関わること 会員への教育研修会や講習会の整備
大会WG	岸 田中恒 矢田 森田	国内の大会事業に関すること
会員制度WG	高橋 小島 山田 安田 上村 吉川	会員登録に関すること
パスウェイWG	中井 大嶋 山内 小林 添田	普及発掘育成強化のパスウェイに関すること

未来を担う子どもたちのための環境創出プロジェクト ～キッズ・ジュニアチームを創ろう～

本プロジェクトの目的

本プロジェクトを通じて、現在各地域で活動している子どもたちも、まだ出会っていない全国各地に眠っている、未来のパラスポーツプレイヤーを発掘する。その子どもたちが、自分たちが暮らしている地域で、気軽にパラスポーツや、自然体験活動等を楽しめる、キッズ・ジュニアチームの環境を創出【地域コミュニティの活性化】を目指すと共に、子どもたちが感性豊かな心を育むきっかけづくりを目的とする。

【活動事例】

木トランポリン



シーカヤック



車いすバスケット



どろんこ運動会



雪遊び・スキー体験



バリアフリーダイビング



アートフェスティバル



鯉のわら焼き体験



地引網漁体験から
命の食育



2. 地域活性化モデル事業「やったことがある！を増やそうプロジェクト」

本プロジェクトの意図と目的

各クラブチームが地域から愛され応援されるクラブとなるために、車いすバスケットを通して誰もがいきいきと輝く地域社会の実現に貢献することを目的とした地域活性化プロジェクトです。

地域にお住いの小学生～シニアを対象とした車いすバスケットの一日体験プログラムを開催していただくクラブチームをJWBFがサポートします

(サポート内容例)

- ・進行役サポート人材の派遣
- ・競技用車いすのレンタル
- ・運営費用の補助
- ・広報活動

等



皆様の地域コミュニティにおける人と人とのつながりを深め、自治体や学校、企業等との様々な連携強化のためにご活用ください！



地域のクラブ、そして関わるひとり一人が主役になって
眩しいほどに輝く未来を共に創ろう